

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	分野別講義「アセスメントとサービス提供の基本姿勢」
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	アセスメントとサービス提供の基本姿勢
	3 関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	55分
○ 7	到達目標	・講義を通じて、生活介護・療養介護におけるサービス提供の基本的な姿勢、サービス提供のポイント、アセスメントのポイントについて理解する。
○ 8	教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者の役割について ・サービス提供の基本姿勢 ・サービス提供の視点 ・相談支援事業所とサービス提供事業所の連携 ・アセスメントのポイント ・サービス管理プロセスの実際
○ 9	授業方法	・講義形式
○ 10	授業計画	・講義資料「アセスメントとサービス提供の基本姿勢」を使用し、スライドを併用しながら実施する。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	・講義資料「アセスメントとサービス提供の基本姿勢」
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	ミニ講義 1 「生活介護・療養介護サービス提供の視点」 ミニ講義 2 「生活介護・療養介護サービス アセスメントのポイント」 演習 1 アセスメント 演習 2 アセスメント及びニーズの整理 演習 3 支援計画の見立て①②
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	・アセスメントとサービス提供の基本姿勢 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①（アセスメント編）」
○ 3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	150分 ミニ講義 1 15分 ミニ講義 2 25分 演習 1 60分 演習 2 20分 演習 3 35分
○ 7	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習を通じて生活介護・療養介護におけるサービス提供の基本的な姿勢、サービス提供のポイント、アセスメントのポイントについて理解する。 ・アセスメントに基づく目標設定の技術を習得する。 ・利用者状況の把握及び整理した情報を複数の目でのアセスメント（診立）方法と技術を習得する。 ・「アセスメント（診立て）」と具体的な「個別支援計画を作成する知識と技術（手立て）」を習得する。
○ 8	教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者が現場に伝える生活介護・療養介護サービス提供の視点 ・事例の読みこみによる必要情報の整理と事例提供者への質問 ・相談の再整理（再アセスメント）によるニーズの本質への接近
○ 9	授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とグループワークによる演習 ・事例を読みこみ、必要な情報を引き出す。 ・支援のための課題整理を行う。 ・グループ内でその共有を図るとともに、個別支援計画の作成のための演習を行う。
○ 10	授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講義「生活介護・療養介護サービス提供の視点」、「生活介護・療養介護サービスアセスメントのポイント」で演習前に演習時のポイントについて説明し、グループワークによる演習を行う。各グループにはファシリテーターを配置する。 ・事例提供者に必要と思う情報を聞き出す。
○ 11	準備学習	
○ 12	教科書・参考書	ミニ講義資料「サービス管理責任者が現場に伝える生活介護・療養介護サービス提供の視点」・「相談の再整理（再アセスメント）によるニーズの本質への接近」
○ 13	注意事項	
○ 14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	ミニ講義3 「個別支援会議の意義」 演習4 個別支援会議のロールプレイ
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	・アセスメントとサービス提供の基本姿勢 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①（アセスメント編）」 ・サービス内容のチェックとマネジメントの実際（模擬会議）
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	60分 ミニ講義3 15分 演習4 45分
○ 7	到達目標	・講義と演習を通じて、個別支援会議の意義、進め方、サービス管理責任者の役割などについての理解を深める。 ・模擬支援会議を通じて、サービス内容のチェックとマネジメントの実際を習得する。
○ 8	教科の概要	・個別支援会議の意義 ・チームアプローチ ・風通しの良いチームの作り方
○ 9	授業方法	講義とロールプレイによる演習と振り返り
○ 10	授業計画	・ミニ講義「個別支援会議の意義」で演習前に演習時のポイントについて説明し、ロールプレイによる演習を行う。ロールプレイ終了後はグループ毎で振り返りを行う。 ・ロールプレイ用指示書（役者カード）を用意し、場面設定を行う。 ・会議運営の視点、あり方について学ぶ。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	ミニ講義資料「個別支援会議の意義」
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	演習5 個別支援計画原案の作成
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①（アセスメント編）」
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	80分
○ 7	到達目標	・ 演習を通じ、アセスメントに基づいて目標設定、個別支援計画の作成の技術を習得する。
○ 8	教科の概要	・ アセスメント結果を検討した個別支援会議の結果を基に個別支援計画の作成 ・ 提供された情報から初期状態の把握（アセスメント）や課題の整理方法を学ぶ。 ・ アセスメントから到達すべき目標や支援内容など個別支援計画の作成方法を学ぶ。
○ 9	授業方法	・ グループワーク ・ 個別支援計画表を用いてグループで計画をまとめる。
○ 10	授業計画	・ 本人のニーズ、目標にあったサービス内容、期間、利用方法等を検討する。 ・ 本人の計画になるよう言葉の表現を工夫する。 ・ 発表できるようにまとめておく。議論の経過や大切にしたこと、工夫したことなど。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	演習6 個別支援計画提示のロールプレイ
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	サービス内容のチェックとマネジメントの実際（模擬会議）
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	55分
○ 7	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じ、サービス管理責任者の役割を理解する。 ・模擬支援会議を通じて、サービス内容のチェックとマネジメントの実際を習得する。
○ 8	教科の概要	個別支援会議での利用者への個別支援計画原案の提示
○ 9	授業方法	ロールプレイによる演習と振り返り
○ 10	授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役割を十分にふまえた上で、利用者、家族との面談を進行する。 ・2グループ合同で実施する。 ・ロールプレイ用指示書（役者カード）を用意し、場面設定を行う。 ・ロールプレイ終了後は2グループ合同で振り返りを行う。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	演習7 個別支援計画の修正
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①（アセスメント編）」 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究②（個別支援計画編）」
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	50分
○ 7	到達目標	模擬支援会議を通じて得られた情報や気づきを基に、個別支援計画原案を修正し個別支援計画を作成するプロセスを確認する。
○ 8	教科の概要	個別支援計画原案から本計画を作成する。
○ 9	授業方法	・グループワーク ・個別支援計画表を用いてグループで計画をまとめる。 ・変更箇所がわかるように表にまとめる。
○ 10	授業計画	・ロールプレイを振り返り、模擬個別支援鍵から得られた、本人のニーズ、目標にあったサービス内容、期間、利用方法等を検討する。本人の計画になるよう言葉の表現を工夫する。 ・発表できるようにまとめておく。議論の経過や大切にしたこと、工夫したことなど。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	ミニ講義4 「モニタリングの意義」・「個別支援計画と個人記録」 演習8 モニタリング 演習9 個別支援計画の発表
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	・アセスメントとサービス提供の基本姿勢 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究①（アセスメント編）」 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究②（個別支援計画編）」
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	155分 ミニ講義4 20分 演習8 70分 演習9 65分
○ 7	到達目標	・講義と演習を通じて、個別支援計画の修正及び見直しの技術を習得する。 ・モニタリングを行うために必要な記録の記載方法、整理方法について理解する。 ・発表の際のプレゼンテーション技術を習得する。 ・追加情報に基づく個別支援計画の中間評価（モニタリング）を行い、個別支援計画の修正に関する知識と技術を習得する。
○ 8	教科の概要	・モニタリング情報を受けて、個別支援計画の見直し、修正 ・修正した個別支援計画の発表 ・事例を使用して、グループ毎に変更要因を検討し、本人や環境の変化等に対応した個別支援計画の修正のポイントを明確にする。あわせて、サービス提供職員への指導助言のポイントを明示する。
○ 9	授業方法	講義とグループワーク
○ 10	授業計画	・モニタリング情報を提示し、グループワークで実施する。 ・モニタリング記録表、個別支援計画表を用いて修正箇所をまとめる。 ・必要な情報を抽出し、再整理する。・発表できるようにまとめておく。議論の経過や大切にしたこと、工夫したことなど。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	ミニ講義資料「モニタリングの意義」・「個別支援計画と個人記録」
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	ミニ講義5 「サービスの評価」 演習10 個別支援計画の検証
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	・アセスメントとサービス提供の基本姿勢 ・「サービス提供プロセスの管理の実際 事例研究②（個別支援計画編）」
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	40分 ミニ講義5 10分 演習10 30分
○ 7	到達目標	・模擬支援会議を通じて、サービス内容のチェックとマネジメントの実際を習得する。 ・サービス内容のチェックとマネジメントの実際を習得する。
○ 8	教科の概要	・講義と演習を通じて、サービス内容のチェックとマネジメントの理解 ・アセスメントから終了時評価までの支援全体を振り返り評価する
○ 9	授業方法	講義とグループワーク
○ 10	授業計画	各グループでの発表を参考に自分たちのGで作成した個別支援計画を検証する。
11	準備学習	
12	教科書・参考書	ミニ講義資料「サービスの評価」
13	注意事項	
14	参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	演習 1 1 グループ討議 演習 1 2 グループからの発表
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	サービス内容のチェックとマネジメントの実際（模擬会議）
3	関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	90分 演習 1 1 60分 演習 1 2 30分
○ 7	到達目標	これまでの演習を通じて、サービス提供プロセスの管理、サービスの質の確保、関係機関との連携（（自立支援）協議会への参画）等、サービス管理責任者の業務と役割について再確認する。
○ 8	教科の概要	・研修を通じ、サービス管理責任者の役割を再確認する。 ・個別支援計画の作成・評価に係る支援会議の場面を想定し、各グループにおいて模擬支援会議を実施し、チーム支援の重要性を確認する
○ 9	授業方法	・グループワーク ・サービス管理責任者としてのサービス内容チェック、マネジメント方法について検討する。 ・関係機関との連携等について討議する ・事例を通じて、サービス管理責任者としての役割と業務の総括
○ 10	授業計画	・事例のサービス提供プロセス、模擬支援会議等の体験的理解から、サービス管理責任者の役割（サービス内容のチェック・マネジメント機能）を確認する。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必要項目	項目	内容
○ 1	教科名	全体総括（講義）
○ 2	国が定める標準カリキュラム上の科目	アセスメントとサービス提供の基本姿勢
	3 関連する研修目標	事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○ 4	担当講師名	増井 滋美 ・ 安藤 寛将 ・ 市川 博康
○ 5	担当講師略歴	別掲
○ 6	時間数	40分
○ 7	到達目標	3日間の研修を総括し、講義や演習を通して学んだサービス管理責任者の役割について再度、全体で確認。
○ 8	教科の概要	研修全体を振り返り、サービス管理責任者の役割、サービス提供プロセスなどの再確認
○ 9	授業方法	講義形式
○ 10	授業計画	講義資料「研修のまとめ」を使用し、スライドを併用しながら実施する。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義資料「研修のまとめ」
	13 注意事項	
	14 参照リンク	